

## 中小企業への経営支援業務を、中小企業診断士の実務に同行しての実践職場体験

日程：2007年9月

場所：大田区立 御園中学校及び大田区内対象会社

必要施設：机・いす・黒板・パソコン等

受入企業：ナレッジコラボ事業協同組合

担当：榎本（中小企業診断士）・中山（マーケティングコンサルタント）

### 主なカリキュラム

- 事前オリエンテーション  
コンサルの仕事の現場の見学と5日間の説明
- 1日目：経営支援とは・・・基本知識の習得  
財務・労務・マーケティング  
情報モラルについて  
コミュニケーションスキルの大切さ
- 2日目：対象会社への訪問（リサーチ）・・・情報収集の実践  
「全ては現場でおきている」「聞く」から「聴く」  
大切な事柄は、メモ「書く」から「描く」
- 3日目：検討会と提案書作り・・・基本知識の応用実践（分析→アイデア→構築）  
「現実を正確に伝える事の難しさ」から「気づいていただくこと大切さ」
- 4日目：対象会社への提案（プレゼンテーション）・・・実践  
「伝える」という事は、相手の次のアクションにどこまで影響を与えられるか？  
伝わらない or 伝わった or 理解した or トライして失敗 or トライして成功
- 5日目：体験のまとめ（5日間で学んだ事と、今後それをどう生かすか）  
良かったこと→より良くする  
悪かったこと→改善

※中小企業診断士とは、経営上のあらゆる課題に対して、診断・助言を行う、国家資格の経営コンサルタントです。

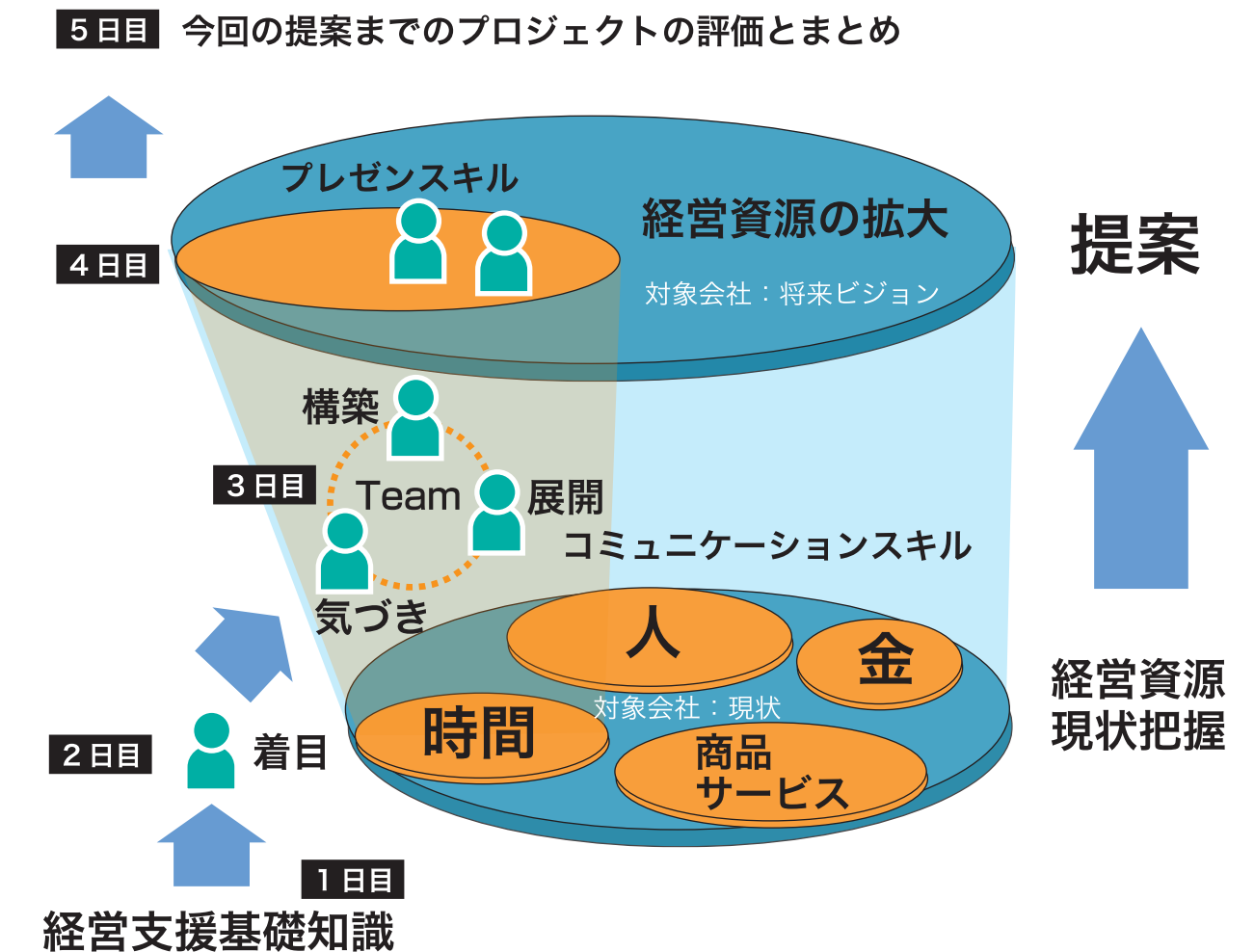
コンサルティングとは、主に企業に対して、企業が成長・発展するために、現状と目標との間にある「問題点」を発見・整理し、その解決策を企業と共に検討し、実行に向けた支援を行います。コンサルティングを行う人を「コンサルタント」と呼び、業務または業種の専門的知識を持って対応し、加えて、観察力、問題発見力、企画構成力、分析力、指導力、プレゼンテーション力など多様な能力が要求されます。

弁護士、公認会計士、司法書士、不動産鑑定士、税理士、社会保険労務士、行政書士、中小企業診断士などの国家資格所有者がコンサルティングにあたることが多いですが、コンサルタントとなるための必要資格はありません。

※コンサルティングの一般的な進め方

コンサルティングの実施にはプロジェクトを編成して業務を行う事が多く、プロジェクトには依頼する会社の側から主要メンバーと、コンサルティングに必要な専門家が加わりプロジェクトとして進めます。

## 5日間のイメージフロー



コンサル業務の実践体験の中での専門知識スキルの体験と、それらを支える各個人としての今、磨くこと出来る基本的スキル（ポータルスキル）の重要性の確認体験

